

がんばれ！吹奏楽部！！

私は、以下のように音楽的素養（ソヨウ：常ひごろ養った教養）は全くのゼロの、超オンチです。

●小学校2年生の頃です。音楽の時間に「海」という歌を歌いました。『海は広いな大きいな…』というもので、みなさんも知っていると思います。私は思いっきり声を張り上げて歌ったのですが、音楽の時間が終わると担任の先生によばれ、「まわりに聞こえないように歌いなさい」と言われました。とてもショックでした。この時に、初めて自分がオンチだということがわかりました。

●これもやはり中学校3年生の音楽の時間です。歌のテストがあり、「エーデルワイス」という課題曲を先生のピアノ伴奏で独唱し、その場で先生が点数をつけるというものでした。女子の名簿1番から始まりました。私のクラスには、〇〇さんという超恥ずかしがり屋の女子がいたのですが、この女子が全く歌わないで黙っていて、10点満点中の2点でした。いよいよ男子の番です。名簿3番の私は『エーデルワイス』と大声で歌ったのですが、なんと1点でした。声を出さなかった女子よりも、点数が低かったのです。納得できませんでしたが、とてもその理由を聞ける雰囲気ではありませんでした。その13年後、私が南津軽郡で先生になり、2年目にその音楽の先生と偶然同じ学校に勤務することになりました。中学3年生の時の歌のテストのことを尋ねてみると、その先生も当時のことをおぼえていて「あまりにも音程がずれていて、ふざけていると思い1点にした」ということでした。やはり私はすごいオンチだったのです。

そんな私ですが、音楽を聴くのは大好きです。特に浜田省吾の大ファンです。コンサートにも何度か行っています。そして、なぜか音楽に縁があります。私の家内（カナイ：自分の妻のこと）は、音楽に関係する仕事ですし、私のかつて勤務していたのは、吹奏楽部が全国大会に出場した三中や、合唱部が何度も全国大会で一位になった白銀南中です。そういう学校では、運動部以上に練習もしていました。本校の吹奏楽部も同様に、ものすごく頑張っていると思います。市中体夏季大会でも、野球部や応援団は吹奏楽部の演奏に力をもらったはずです。

その吹奏楽部が、来週の土曜日から2日間行われる「青森県吹奏楽コンクール第36回八戸地区大会」に出場します。演奏は、9日の中学校小編成の部で、午後4時5分から10分間の予定です。運動部でいえば市中体の大会と同様で、7月末の県大会を目指します。テスト週間になってからも、9日にそなえて練習を継続してきました。結果はともかくとして、公会堂に「さわやかなコナチュウサウンド」を響かせてほしいと思います。もちろん、私も聴きに行きます。頑張れ！吹奏楽部！！

【今日のひとり言】

●吹奏楽部の壮行会を、8日（金）の生徒朝会の時に行います。朝の大変お忙しい時間ではありますが、もしご都合のつく方は8時5分くらいまでにおいでください。

●本校の同窓会長である、中ペン塗装店の中村昭則さんに、「図書室へどうぞ」ということで、本をご寄贈いただきました。同総会でも、来年度の創立70周年に向けて、自分達で何ができるかということを考えてくれているということもうかがいました。本当にありがたいことです。

●表の「もしも」ということに関連しますが、最近よく私が「もしも」と考えるのは、「もしも私がやせていてカッコ良かったら…」ということです。この私がスラッとしていて、俳優の舘ひろしみた이었다らどうでしょうか？こういうのを、妄想（モウソウ：事実でないことを想像してみたりすること）というのですね、きっと。

●今日の私の似顔絵は、美術部2年生の古里楓夏さんに描いてもらいました。2次考查の手ごたえを聞いたら、「社会と英語以外は大丈夫」と答えてくれました。最近、「もしも」と思ったことを聞いたら、しばらく考えたうえで「あまりない」ということでした。後悔しない生活を送れているのだと思います。楓夏さんの趣味は、消しゴムでアニメのキャラクターのハンコを作ることだと小野崎先生に聞いていましたので、私のハンコを頼んだところ、快諾（カイダク：気持ちよく承知すること）してくれました。どんな感じでできてくるのか、今からとても楽しみです。